

第62回和歌山大学特別支援教育コーディネーターフォーラムのご案内

- 日時：2015年10月28日（水）午後6時15分開始（2時間程の予定）
- 場所：①和歌山市：和歌山大学 システム情報学センター 1F第2演習室
②田辺市：和歌山県立情報交流センター（ビッグ・ユウ） 研修室4
③新宮市：みくまの支援学校 会議室
④橋本市：きのかわ支援学校 視聴覚室
- 講演：「働く人に合わせた仕事づくりと利益向上の両立
—働くことを通した自信の回復へ—」
- 講師：和歌山大学教育学部教授 山崎由可里
あみだ食品代表取締役・スクールカウンセラー 松本なお氏

【講演の要旨】

新聞やインターネットを見ると、「リストラ」「ブラック企業」「不安定就労」「低賃金」など、働く者にとって過酷な社会を象徴するようなことばが散見されます。一方、作業所のような障害のある人に合わせる仕事(福祉的就労)はなかなか収入に結びつかない、という現実もあります。働きやすい環境づくりや収入の保証と企業の利潤追求は両立し得ないものなのでしょうか。

松本なおさんは、フリーズドライの仏前用精進料理と葬儀用団子をつくる食品会社の経営者であり、働きながら本研究科（2012年度修了）で研鑽を積まれた方です。現在、近隣の作業所に会社の仕事のほとんどを依頼しています。又、自社工場に作業所や引きこもり者社会参加支援センターから施設外就労という形で雇用し、「人に合わせた仕事づくり+会社の利益増=働く人の収入増の実現」を両立させる事業を展開されています。そのような事業展開に至った経緯や経営者としての「思い」、働く人のペースでできる仕事づくりと会社の利益増=働く人の収入増に結びつく仕組み、そして、働く中で変わっていく（自分に自信を持てるようになっていく）若者の姿、作業所や引きこもり青年対策の機関との連携・協働についてご報告いただきます。

なお、松本さんにお話ししていただく前に、山崎の方からワークキャリアに偏重しないキャリア教育の重要性や、松本さんの取り組みに共通点をもつ「中間的就労」などについて報告させていただきます。

※暴風警報・大雨警報発令時のフォーラム実施について

- ・開催当日16:00の時点で、講演者がいる会場（今回は田辺市）に、暴風警報もしくは大雨警報が発令されている場合は、全ての会場でのフォーラムを中止とさせていただきます。
- ・開催当日16:00の時点で、暴風警報もしくは大雨警報が発令されている地域にある会場は、フォーラムの開催を中止いたします。ただし、会場によって状況が異なるため、16:00以前に中止が決定される場合もあります。その際は会場から連絡がありますのでご留意ください。

参加申込み：不要。 当日、直接会場へお越し下さい。

問い合わせ先： 和歌山大学特別支援教育コーディネーターフォーラム事務局

FAX：073-457-7390 メールアドレス：info-seforum@center.wakayama-u.ac.jp